

正徹千首

草根部類千首和歌

夏百首

蛩

飛ぶほたる光は雲のうへながら

秋風ふくとつげのを枕

ふかからで影なき程の夕暮は

ただ夏むしのとぶほたるかな

さのみ子を思ひし人のなき玉や

蛩となりて闇にもゆらん

いなり山づづみし玉や螢とも

見えてを杉の窓照すらん

「国歌大観」より